

歩道部の舗装復旧

(1) 一般部 = 車の乗入なし（縁石等で歩車道分離されている箇所）（単位：cm）

種類	表層			路盤 再生切込碎石 (RC-40)	砂層	合計厚	仮復旧の 舗装厚
	アスファルト 混合物	平板、 ブロック等	クッション層				
透水性舗装	4	—	—	10	10	24	3
アスファルト舗装	3	—	—	10	—	13	3
コンクリート(カラー)平板舗装	—	6	3	10	—	19	3
インターロッキングブロック舗装	—	6	3	10	—	19	3

※ クッション層に使用する材料は、砂(再生)又は空練りモルタルとし、地盤の状況に応じて不陸の発生を抑える材料を使用すること。

※ 仮復旧の場合は、厚さが合計厚の欄の値となるよう、路盤を厚くし調整すること。
 ※ 平板・インターロッキングの場合は、仮復旧の際の表層はアスファルトとすること。

(2) 車両乗入部(セミトレーラー連結車等は別途検討)

① アスファルト舗装

(単位：cm)

車両別区分	アスファルト混合物	路盤厚	合計厚	仮復旧の 舗装厚
	表層	再生切込碎石(RC-40)		
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	5	25	30	3
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	10(5+5)	25	35	3
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	15(5+10)	30	45	3

② コンクリート(カラー)平板舗装

(単位：cm)

車両別区分	ブロック厚	モルタル厚	上層路盤	下層路盤	合計厚	仮復旧の 舗装厚
			粒調碎石 (RM-40)※	再生切込碎石 (RC-40)		
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	6	3	10	15	34	3
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	6	3	15	25	49	3
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	6	3	30	30	69	3

※ 再生粒調碎石(RM-40)の供給が困難な場合は、粒調碎石(M-40,30)とする

③ インターロッキングブロック舗装

(単位：cm)

車両別区分	ブロック厚	モルタル厚	上層路盤	下層路盤	合計厚	仮復旧の 舗装厚
			粒調碎石 (RM-40)※	再生切込碎石 (RC-40)		
乗用、小型貨物自動車等(2t程度)	8	3	10	15	36	3
普通貨物、大型貨物自動車等(6.5t以下)	8	3	15	25	51	3
大型貨物自動車(6.5tを超えるもの)	8	3	30	30	71	3

※ 再生粒調碎石(RM-40)の供給が困難な場合は、粒調碎石(M-40,30)とする

注意：上段(2)車道乗入部については、歩道の開口幅+両側各60cm(影響範囲)が上記組成となります。